

セーケイウドヴァルヘイ

(Székelyudvarhely)



私の住んでいるグドと近くにある町（デッナケシやヴァーツィなど）についてはもう先輩がガイドブックに書いた。でも、私の母がトランシルバニア出身なので、私はその地域についてもよく知っている。先輩が書いたガイドブックにはハンガリーの国境の外にあり（例えばトランシルバニア）ハンガリー人が大勢住んでいる町についての紹介はない。それで私はトランシルバニアにある「小さいハンガリー」と呼ばれるセーケイウドヴァルヘイという町について紹介する。

ホルノシュ・ダーニエル (Hornos Dániel)

カーロリ大学

2012年

セーケイウドヴァルヘイ の 基本データ

セーケイウドヴァルヘイはルーマニアのハルギタ県で二番目に大きい町である。ルーマニア語でオドルヘイウ・セクイエスク、ラテン語でアレオポリス、ドイツ語でオデルヘッレンと呼ばれる。セーケイウドヴァルヘイはルーマニアのハンガリー人が住んでいる割合が一番高い町である。人口は約3万7000人で、ハンガリー人の割合は約96%である。セーケイウドヴァルヘイの市長はブンタ・レベンテである。セーケイウドヴァルヘイのハンガリーの姉妹都市はツェグレードやタタバーニャやヴァーチなどである。ここで生まれた、またはここに住んでいて、働いていた有名な人達はベネデク・エレクト、ライク・ラースロー、タマーシ・アーロン、ニーロー・ヨーゼフなどである。セーケイウドヴァルヘイには基督教の色々な宗派を信じる人達がいるので、



教会の数が多い。（カトリック教会、カルヴァン主義、ユニタリアン主義、正教会、東方典礼カトリック教会もある。）
セーケイウドヴァルヘイはハンガリー人が大勢いるから、ハンガリーに住んでいるハンガリー人にとって有名な観光地になっている。

ハンガリー人によってセーケイウドヴァルヘイは「小さいハンガリー」と呼ばれている。周辺にある他の観光地はコロンド（伝統的な花瓶などで有名）、パライド（岩塩坑で有名）、ソヴァータ（温泉）などである。

ブダペストからセーケイウドヴァルヘイまで自動車、バスでずいぶん長い約10時かかる。電車、飛行機はブダペストから直接セーケイウドヴァルヘイに行かない。しかし、さまざまな会社のバスはブダペストのNépliget ターミナルから毎晩セーケイウドヴァルヘイへ出発する。

国： ルーマニア
県： ハルギタ
タイプ： 町
人口： 3万6948人



セーケイウドヴァルヘイ の 歴史



ナジ・ラヨシュ王

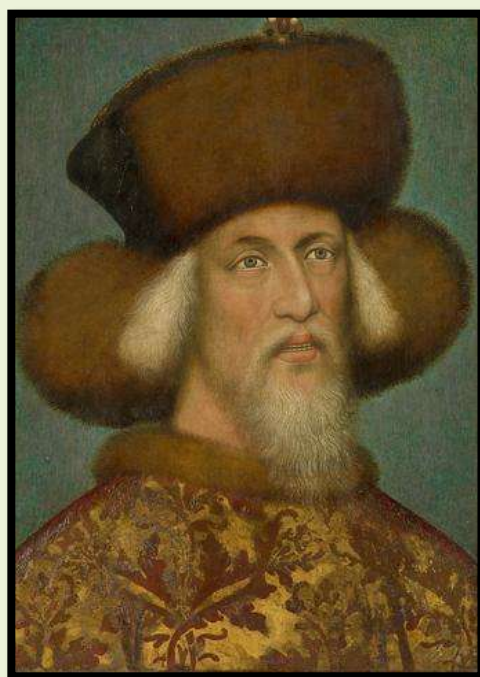
セーケイウドヴァルヘイは11世紀から存在したと言われている。アールパード時代にセーケイウドヴァルヘイの名前はテレグドであった。（アールパード時代は1000年～1301年までで、ハンガリーの第一の王朝が君臨した時代だった。）

ある1333年の書類では「ウドルヘル」という名前が付けられていた。1357年、ナジ・ラヨシュ（“大きなラヨシュ”）王の時代に、セーケイウドヴァルヘイでセーケイ人の国会が行われた。（セーケイ人はトランシルバニアのセーケイ地方に住んでいるハンガリー人の一種である。）

その後、15世紀になって、ジグモンド王がセーケイウドヴァルヘイを町として認めた。（ジグモンド王はルクセンブルグ家の神聖ローマ皇帝、ドイツ王、ボヘミア王とハンガリー王だった。）

1492年、町に第一のお城が建てられた。16世紀に、他の城（セーケイターマドト城）も建てられたが、その城は16～18世紀にいろいろな人々によって何回も壊されて、そして建て直された。

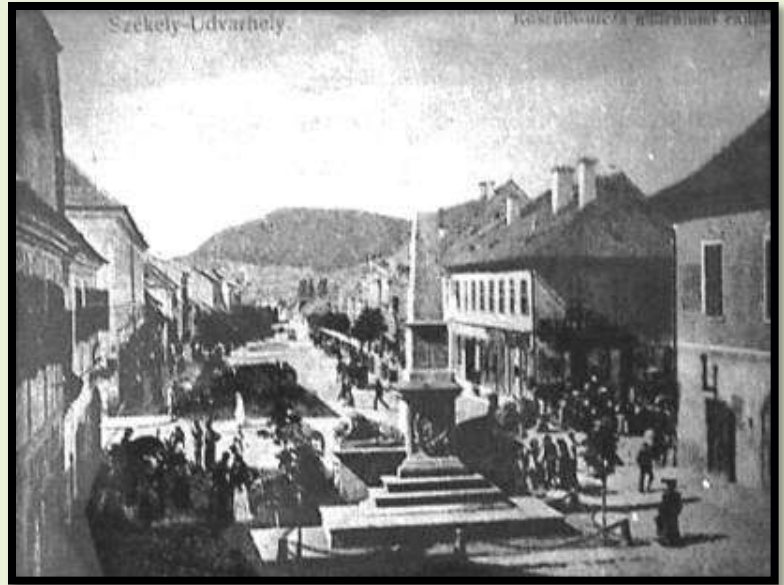
1876年、県を作る時、セーケイウドヴァルヘイはウドバルヘイ県の県庁所在地になった。



ジグモンド王

1910年にはセーケイウドバルの人口は1万人に達した。しかし、1920年のトリアノン条約のせいで、セーケイウドヴァルヘイはルーマニアの地域になった。

そして、1940年の第二次ウィーン裁定によって、町はハンガリーに戻ってきた。しかし、第二次世界大戦の後、セーケイウドヴァルヘイは再びルーマニアの町になった。



ミレニウムの記念柱、1895年

今、ルーマニアのハルギタ県で二番目に大きい町であるが、今でも町の住民の約95%はハンガリー人である。



1940年、第二次ウィーン裁定によって
セーケイウドヴァルヘイがハンガリーに戻る

セーケイウドヴァルヘイ の 有名人

セーケイウドヴァルヘイに 生まれた人達



シメーンファルヴィ・セーケイ・モーゼシュ (㊤)
(Siménfalvi Székely Mózes)

17世紀にセーケイ人（トランシルバニアの一部に住んでいる民族、ハンガリー人の一種である）のプリンスで、ハプスブルグ家と戦った人である。

ライク・ラースロー (㊤)
(Rajk László)

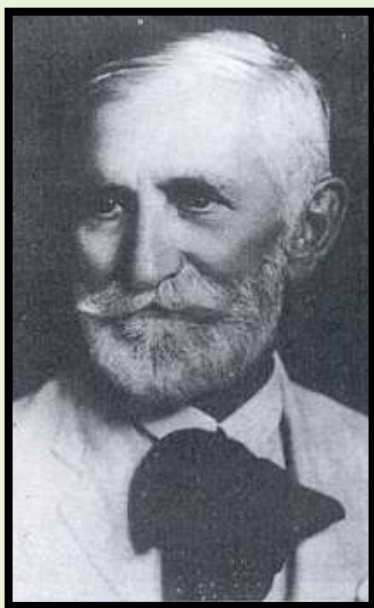
1909年～1949年に生きていた人。
ハンガリー共産党の党员で、1946年～1949年の間、ハンガリーの内務大臣であった。
ÁVO（国家保安局）はライクによって樹立された。しかし、ラーコシ・マーティアール（ハンガリー共産党の後の党首）はライクが対抗者だと考えたので、ライクは1949年 ラーコシによって逮捕されて、1949年10月15日に処刑された。



チャナーディ・ジョージ (㊤) (Csánády György)

1895年～1952年に生きていた詩人である。「セーケイ人の国歌」はチャナーディによって書かれた歌である。（「セーケイ人の国歌」はハンガリーの国歌に似合う歌で、お祝いの時よく国歌と訓辞(Szózat)と一緒に歌われる。）

セーケイウドヴァルヘイで 勉強していた／働いていた人達



ベネデク・エレク (左) (Benedek Elek)

1859年～1929年に生きていた作家である。セーケイウドヴァルヘイの人文学部で勉強して、その後ブダペストに引っ越した。たくさんの子供向けの物語を書いたから、ハンガリーの児童文学を創設した作家と呼ばれている。

タマーシ・アーロン (右)
(Tamási Áron)

1897年～1966年に生きていた作家である。有名な作品はあるセーケイの若者の生活について

書かれた「アーベル」の三部作である。



カーニャーディ・
シャンドル (左) (Kányádi Sándor)

1929年に生まれた詩人である。たくさん
の詩と物語を書いて、約30の賞ももら
った（例えばハンガリーで評価が高い
コシュート賞）。
カーニャーディの
詩は子供が大好き
である。

ニーロー・ヨージェフ (右) (Nyíró József)

1889年～1953年に生きていた作家である。時代小説も、ハンガリー人の昔の社会についての小説も書いた。今、ハンガリーの左派政党はニーローが反ユダヤ主義者だったと言って、ニーローを批判している。



セーケイウドヴァルヘイ の 観光地



「想起の公園」（像の公園）（①）

2004年、町の中に形成された公園。昔生きていた有名人、芸術家、神話の英雄の半身像が13ある。

ミレニウムの記念柱（②）

最初、1897年にミレニウムの記念柱が建てられた。柱の表面にセーケイウドヴァルヘイの紋章、柱のそばにライオンの像が二つあった。1919年、ルーマニアの当路によって取り壊された。それから、何度か柱を建て直す計画があった。

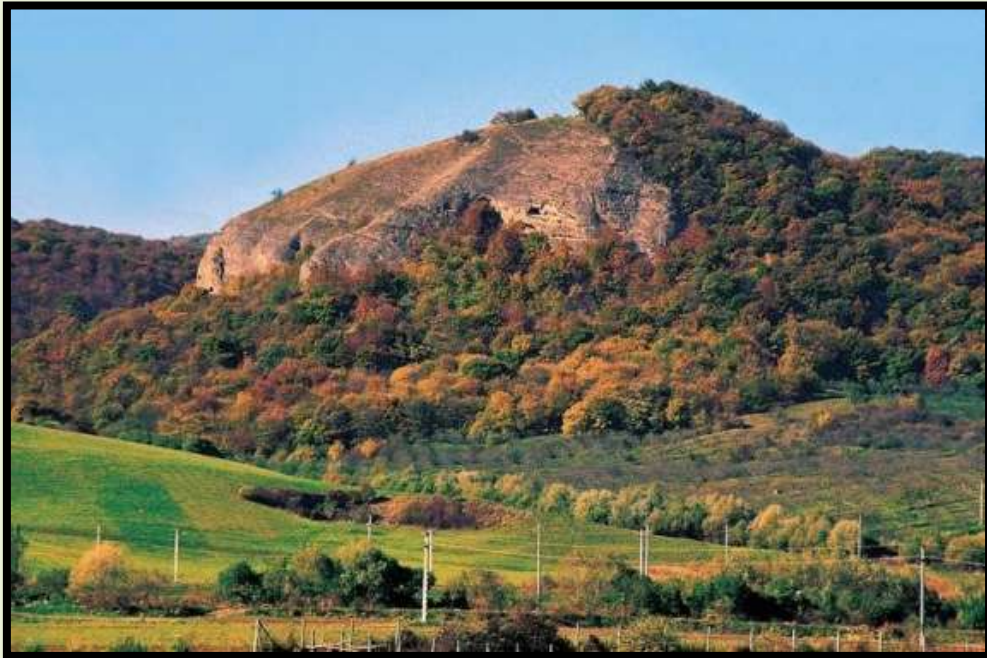
結局、2008年、柱が建て直された。ミレニウムの記念柱は今、町の中心にあって、柱の上にトゥルルの鳥（*turul*、ハンガリーの象徴、昔、ハンガリー人の部族のトーテムだった）の像もある。



トンパ・ラースローの家 トンパ・ラースローは1883年セーケイウドヴァルヘイに生まれた作家である。実家は今トンパの生活と作品を紹介する博物館として使われている。

ブド城 (㊦) (Budvár)

ブド城はセーケイウドヴァルヘイの近くにある 11～12 世紀ごろ建てられた城である。1241 年、モンゴル軍の攻撃によって倒された。今、ブド城の廃墟は記念建造物として有名である。



イエスーチャペル (㊦) (Jézus Szíve Kápolna)

16 世紀に建てられた古いチャペルである。今記念建造物である。



セーケイウドヴァルヘイ 周辺の観光地

セーケイウドヴァルヘイから他の観光地も簡単に手の届く所にある。
それらの観光地から、いくつか紹介する。



Parajd (パライド、ルーマニア語：Praid)

パライドはセーケイウドヴァルヘイから約37キロメートルのところにある、岩塩坑で有名な所である。パライドの岩塩坑の空気は喘息などの病気がある人にとって役に立つから、毎月、あるいは毎年パライドに来る人が多い。岩塩坑へはバスで行ける。岩塩坑

の中には子供向きの遊び場、教会まで建てられている。パライドには、岩塩坑の以外に、療養温泉もある。

Korond (コロンド、ルーマニア語：Corund)

コロンドはセーケイウドヴァルヘイから27キロメートルのところにある。粘土から作る、手で飾り付けをする伝統的な瓶、皿、または他の伝統的な商品で有名な所である。コロンドのメインロードには、すべての家の前、または家の庭に小さい売り場があって、伝統的な商品が売られている。コロンドに住んでいる家族の大半はその伝統的な物を作ったり、売ったりして生計を立てている。



Szováta（ソバータ、ルーマニア語：Sovata）

ソバータはセーケイウドヴァルヘイから約46キロメートルのところにある温泉地である。温泉はメデヴェトー（“熊湖”）という湖である。この湖の塩分は高いため、入浴すると健康によいと言われている。



Farkaslaka（ファルカシュラカ、ルーマニア語：Lupeni）

ファルカスラカ（“狼の住んでいる場所”）はタマーシ・アーロン（作家）の出身地である。セーケイウドヴァルヘイから12キロメートルのところにある。ファルカスラカの観光地はタマーシ・アーロンの墓と実家（現在博物館である）である。また、ファルカシュラカの近くのゴルドンテトー（**Gordon-tető**—約960メートルの



高い山）にあるイエス像は見晴台として観光地になっている。

Szejkefürdő（セイケフルドー、ルーマニア語：Seiche）

セイケフルドー（“セイケの温泉地”）はセーケイウドヴァルヘイから4キロメートルのところにある。名所は温泉とオルバーン・バラージの墓で、有名なイベントは **Szejke Napok**（セイケの日々）である。セイケフルドーの温泉の水には硫黄があるため、健康によい温泉水として知られている。19世紀の作家オルバーン・バラージは、6年の間、荷車でセーケイ地方（トランシルバニアの一部、セーケイウドヴァルヘイの近所）をすべて見て回り、*Székyföld leírása*（セーケイ地方の記述）と言う作



品を書いた。セイケの日々は毎年6月に行われて、セイケ地方の様々な町、村に住んでいる民族（セイケイ人、ハンガリー人、ルーマニア人、ドイツ人、ウクライナ人、スラヴ人）が集まる。このイベントでは民族衣装を着たり、民族舞踊を踊ったり、宗教的な奉仕を聞いたり、空の下で食べたり飲んだり喋ったりする。

Énlaka（エー
ンラカ、ルー
マニア語：
Inlăceni）

エーンラカはセイケイウドヴァルヘイから約20キロメートルのところにあり、ユニテリアン主義の教会で有名な村である。教会の中から、ロヴァーシュ文字（ハンガリーの原始の刻み文字）で書いた銘が発見された。銘の意味は「*Egy az Isten*」（“神様は一つである”）だと考えている。



Kőrispatak（コーリシュパタク、ルーマニア語：*Crișeni*） コーリシュパタクはセイケイウドヴァルヘイから約40キロメートルのところにあり、麦藁帽子の博物館が名所の1つとなっている。また、コーリシュパタクという小川で見つかる、奇妙な形をした小石も有名である。

Homoródfürdő（ホモロードフルドー、ルーマニア語：*Băile Homorod*）

ホモロードフルドー（“ホモロードの温泉地”）はセイケイウドヴァルヘイから16キロメートルのところにあり温泉地である。温泉の他、ホモロードフルドーには冬のあいだオープンする初心者向きのスキー場もある。



セーケイウドヴァルヘイ の ホテル

Petőfi Panzió “ペテーフィ” ペンション

住所： RO-535600 Székelyudvarhely, Petőfi Sándor utca 2.

電話番号： 00-40/756-093-926

電子メール： office@petofipanzio.ro

ウェブサイト： www.petofipanzio.ro

Horizont Panzió “地平線” ペンション

住所： RO-535600 Székelyudvarhely, Szeles Janos utca 6.

電話番号： 00-40/740-354-012

電子メール： office@horizontweb.ro

ウェブサイト： www.horizontweb.ro

値段： 23€/2人

Margaréta Panzió “雛菊” ペンション

住所： RO-535600 Székelyudvarhely, Rét utca 22.

電話番号： 00-40/266-210-906

電子メール： margareta@panzio.ro

ウェブサイト： www.margareta.panzio.ro

値段： 10€/人

Septimia Resort Hotel Wellness Spa “セプチミア” ホテル

住所： RO-535600 Székelyudvarhely, Orbán Balázs utca 106.

電話番号： 00-40/266-217-770

電子メール： reception@septimia.ro

ウェブサイト： www.septimia.ro

値段： 64€/2人

セーケイウドヴァルヘイ の レストラン

Fényes Vendéglő

“フェーニエシュ”（明るい）レストラン
1900年に設立した伝統的なレストラン。

住所： RO-535600 Székelyudvarhely,
Kossuth Lajos utca 19.

電話番号： 00-40/266-210-244

電子メール： fenyes@fenyes.ro

ウェブサイト： www.fenyes.ro



Gondúzó Étterem

“ゴンデューゾー” レストラン

住所： RO-535600 Székelyudvarhely,
Szentimre utca 18.

電話番号： 00-40/266-218-372

電子メール： office@gonduzo.ro

ウェブサイト： www.gonduzo.ro



Pethő Étterem “ペトー” レストラン

住所： RO-535600 Székelyudvarhely,
Rákoczi Ferenc utca 21.

電話番号： 00-40/744-633-510

電子メール： office@petho.ro

ウェブサイト： www.petho.ro



すべてのレストランではセーケイ地方とハンガリーの伝統的な料理が食べられる。値段は多少違いがあるが、だいたい同じである。

セーケイウドヴァルヘイ の ケーキ屋

Alexandra Cukrászda

“アレクサンドラ” ケーキ屋

セーケイウドヴァルヘイでは評価が一番高いが、値段はそれほど高くないケーキ屋。たくさんのおいしいケーキから選ぶことができる。ケーキを食べたり、コーヒーを飲んだりしながらゆっくりしゃべることもできる。ここで、朝御飯も食べられる。

住所： RO-535600 Székelyudvarhely, Márton Áron tér 2.

電話番号： 00-40/266-218-300

電子メール： forro.hunor@gmail.com



Vidéki Pékség és Cukrászda

“ヴィデーキ” ケーキ屋

セーケイウドヴァルヘイの郊外にあるパン屋とケーキ屋。おいしいパンとケーキのほか、アイスクリームも食べられる。

住所： RO-535600 Székelyudvarhely, Győzelem utca 12.

電話番号： 00-40/755-280-989

ウェブサイト： www.videkipekseg.ro



Harmónia Cukrászda

“ハルモーニア”（調和） ケーキ屋

住所： RO-535600 Székelyudvarhely, Főtér 6.



セーケイウドヴァルヘイ の 歩き方

たくさんの人たちがバスでセーケイウドヴァルヘイへ行きます。ブダペストからルーマニア、セーケイウドヴァルヘイへ行くバスの大半はブダペストの Népliget のバスターミナルを出発して、セーケイウドヴァルヘイの中央ターミナルに着く。このターミナルは **Piac utca**（市場の道・ルーマニア語：**Strada Piații**）にあって（①）、駅も近くある（②）。ターミナルの向こうには大きい市場（③）がある。ここでおいしい野菜と果物を買える。ターミナルから **Piac utca** をまっすぐ行って、右にまがって、**Bethlen Gábor utca**（ベトレン・ガーボル道・ルーマニア語：**Strada Bethlen Gábor**）を行きましょう。その道を行くと、セーケイウドヴァルヘイの中心に着きます。**Bethlen Gábor utca** を行くと、左側にユニテリアン主義の教会があります（④）。必見です。そして、更に道を行くと、中心に着きます。中央広場の片側に市役所の建物が建っています（⑤）。中央広場の真ん中にある小さい公園にはミレニウムの記念柱があります（⑥）。これも是非ご覧になってください。お腹がすいたり、喉が渴いたら、⑦の所にあるアレクサンドラケーキ屋で美味しいケーキを食べて、コーヒーを飲みながら休みましょう。アレクサンドラケーキ屋から右に行くと、**Baróti Szabó Dávid utca**（**Strada Baróti Szabó Dávid**）でセーケイウドヴァルヘイのカトリック教会を見つかります（⑧）。ケーキ屋から左に行くと、⑨の所にある「想起の公園」と公園の中にある像が見えます。これも必見です。最後に、何か伝統的なもの、食べ物、洋服などを買いたければ、**Kossuth Lajos utca**（**Strada Kossuth Lajos**）に行ってみましょう（⑩）。この道には店がいっぱい並んでいます。

